グローバル REIT ウィークリー

Global REIT Weekly

2026年10月第2週号（2026年10月14日発行）

amova アモーヴァ・アセットマネジメント　アセットマネジメント(am)をムーヴ(move)する

ご参考資料

先週（10月5日～10月9日）のグローバルREIT市場の動き

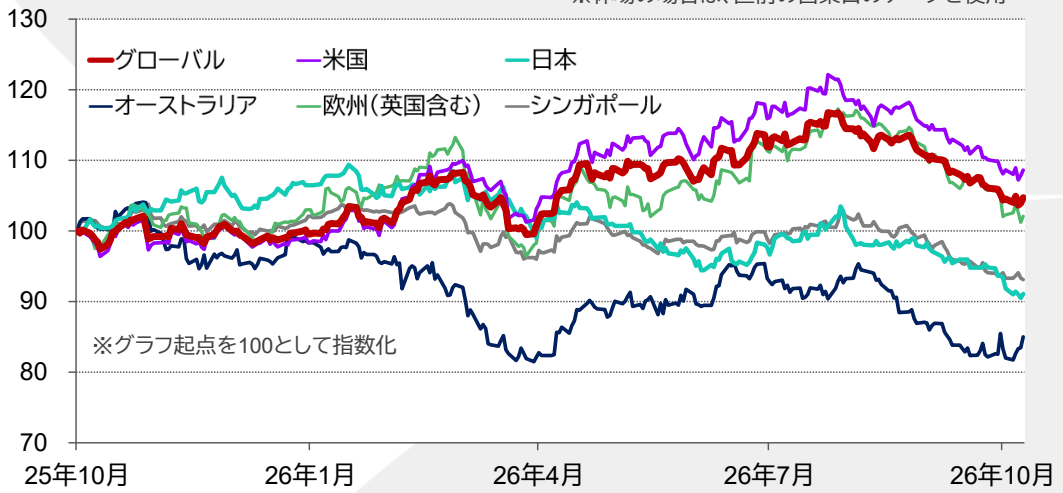
先週のグローバルREIT市場は、一進一退の展開となる中、前週末比で上昇しました。米国の堅調な経済やそれを受けた今後の政策金利の動向に加え、原油価格の高止まりに伴なうインフレ懸念などを背景に、投資家の見極め姿勢が続きました。

- 米国REITは前週末比でほぼ横ばいとなりました。インフレ懸念や追加利上げ観測を背景とした金利上昇が重石となったものの、週後半に堅調な国債入札を受けて金利が低下したことなどは支えとなりました。セクター別では、セルタワー（通信塔）を中心に、住宅や個人向け倉庫などが上昇した一方、オフィスや小売などが下落しました。
- 日本REITは前週末比で下落しました。6日に日銀総裁が、経済、物価、金融情勢に応じて政策金利を引き上げていく方針を改めて示し、今後の金利上昇が意識され、REIT相場の重石となりました。
- オーストラリアREITは前週末比で上昇しました。RBA（オーストラリア準備銀行）は9月に利上げを実施したものの、金融市場ではその後の追加利上げは限定的とみられており、金利上昇への過度な警戒感が和らいだことなどが相場を支えました。セクター別では、多くのセクターが上昇しました。

各国・地域のREIT価格の推移

期間：2025年10月初～2026年10月9日

※休場の場合は、直前の営業日のデータを使用



各国・地域別のREIT市場および為替の動き

※2026年10月9日時点（1週間前＝10月2日、3カ月前＝7月9日、6カ月前＝4月9日、1年前＝2025年10月9日、3年前＝2023年10月9日）なお、休場の場合は、直前の営業日のデータを使用

国・地域	先週末	騰落率（%）				
		週間	3カ月	6カ月	1年	3年
グローバル	826.03	0.2	▲ 6.8	▲ 0.6	6.4	38.0
米国	2,080.43	▲ 0.0	▲ 6.8	0.7	11.1	43.9
カナダ	1,448.23	▲ 0.2	▲ 9.4	▲ 1.1	3.8	24.8
欧州（ユーロ圏）	651.52	0.5	▲ 11.7	▲ 10.4	▲ 1.3	39.4
英国	85.11	▲ 0.8	▲ 4.9	5.4	9.7	21.7
日本	545.11	▲ 0.8	▲ 7.9	▲ 11.2	▲ 9.6	4.7
香港	638.75	2.4	▲ 1.3	0.3	▲ 2.7	21.9
シンガポール	720.88	▲ 0.2	▲ 6.5	▲ 5.6	▲ 7.9	12.7
オーストラリア	1,168.34	3.7	▲ 6.9	▲ 0.7	▲ 15.3	30.7

国・地域	先週末	騰落率（%）				
		週間	3カ月	6カ月	1年	3年
米ドル	158.31	0.3	▲ 2.5	▲ 0.4	3.4	6.6
カナダ・ドル	111.04	0.3	▲ 3.1	▲ 3.5	1.7	1.6
ユーロ	177.34	▲ 0.2	▲ 4.5	▲ 4.6	0.2	13.0
英ポンド	209.42	0.2	▲ 3.8	▲ 1.9	2.8	15.2
香港ドル	20.17	0.3	▲ 2.7	▲ 0.6	2.6	6.3
シンガポール・ドル	123.63	0.2	▲ 1.6	▲ 1.0	5.0	13.7
オーストラリア・ドル	110.54	0.7	▲ 1.9	▲ 1.8	10.2	16.1

※為替の騰落率がプラスの場合は各通貨高、マイナス（▲）の場合は円高
※為替レートは、原則としてニューヨークの17時時点のものです。

ラサール インベストメント マネージメント セキュリティーズからの情報および信頼できると判断したデータをもとにアモーヴァ・アセットマネジメントが作成
※当資料中のREIT価格については、S&P REIT指数のグローバルおよび各国・地域別指数（現地通貨ベース・トータルリターン）のデータを使用しています。
※各指数に関する著作権等の知的財産権およびその他一切の権利は、その提供元に帰属します。
※上記グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社

2025年9月1日付で、日興アセットマネジメント株式会社から社名変更しました。

当資料は、アモーヴァ・アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解および図表等は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。